

AO・推薦入試!ULTRA攻略法 面接・集団討議・プレゼン対策

第1講

【入試面接の実際】

Career Development Adviser
(厚生労働省指定キャリア・コンサルタント)

クロイワ 正一

【 本講座の流れ 】

1. 入試面接の実際

2. 面接で評価されるポイント

3. 面接試験への準備

4. 頻出質問と模範的応答

5. 集団面接・討議・プレゼン

【 大学入試面接の実際 】

- 面接形式

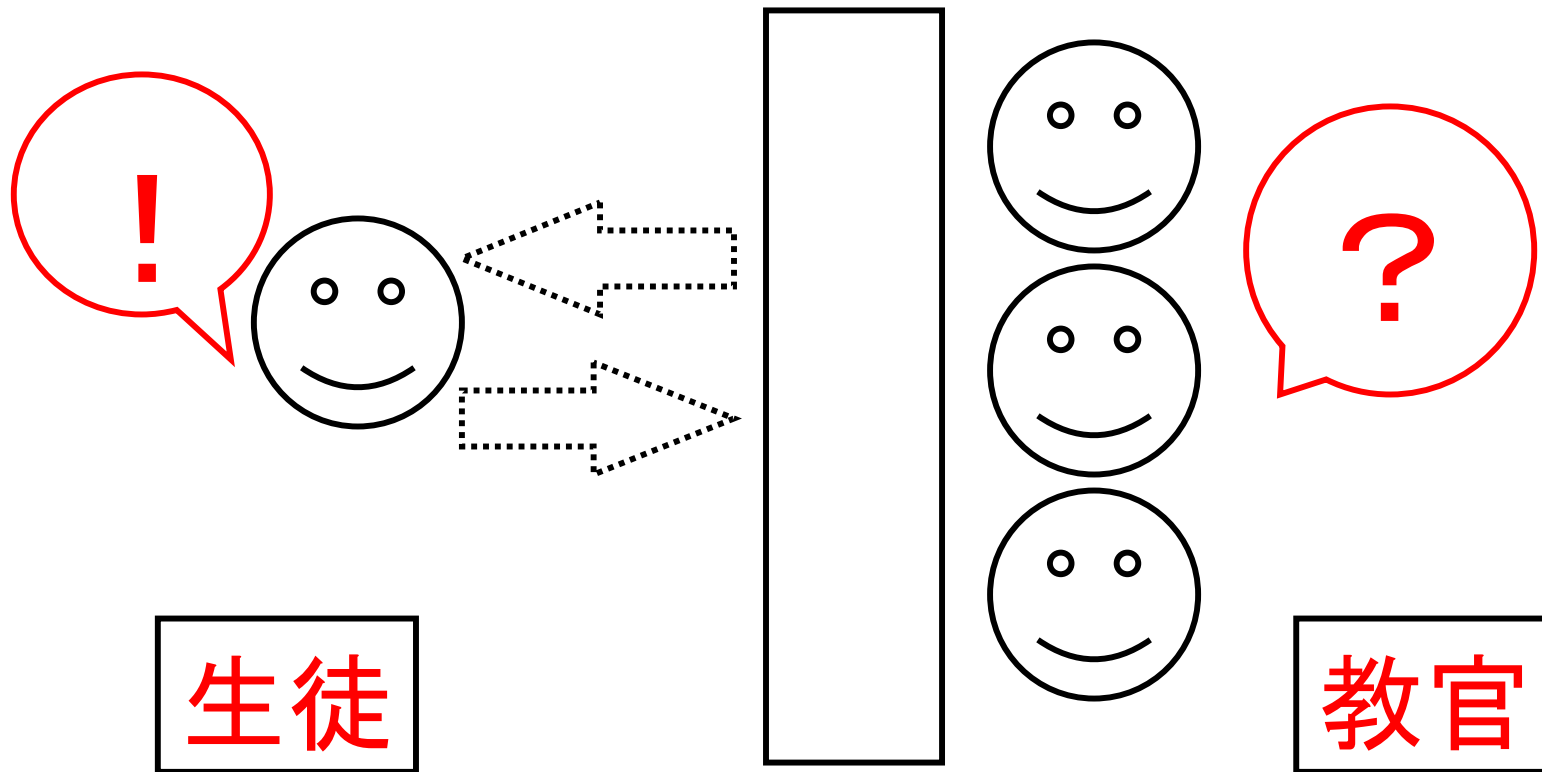
- 個別面接: 受験生1人と面接官の問答
- 集団面接: 受験生複数と面接官の問答
- グループディスカッション: 受験生間での討論
- プレゼンテーション: 教官の前での発表

- 質問内容

- 志望動機に関すること
 - 受験生の成長過程・価値観に関すること
 - 一般社会への問題意識に関すること
- など

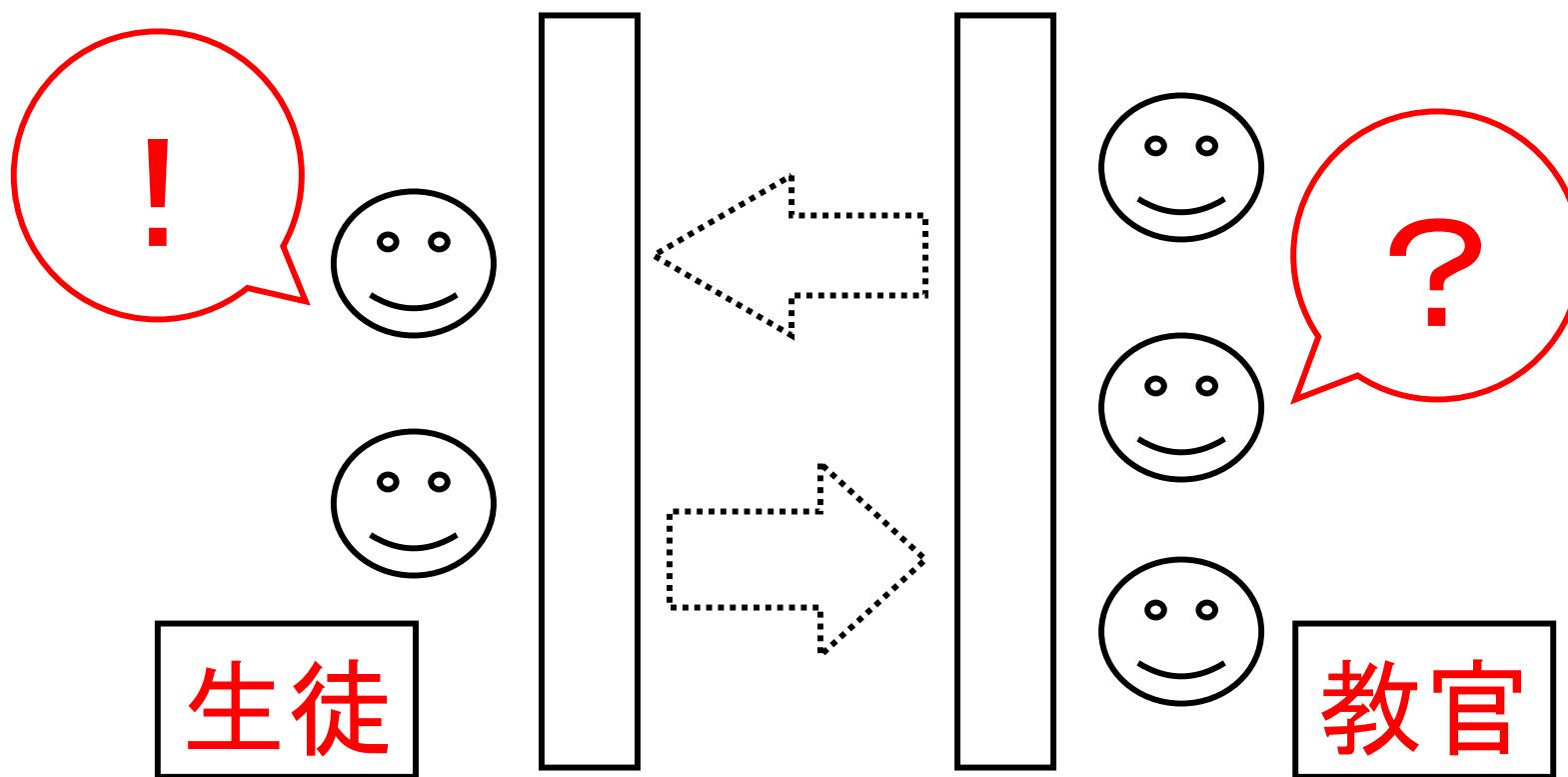
個別面接

- 生徒1人 対 教官(2~3人)



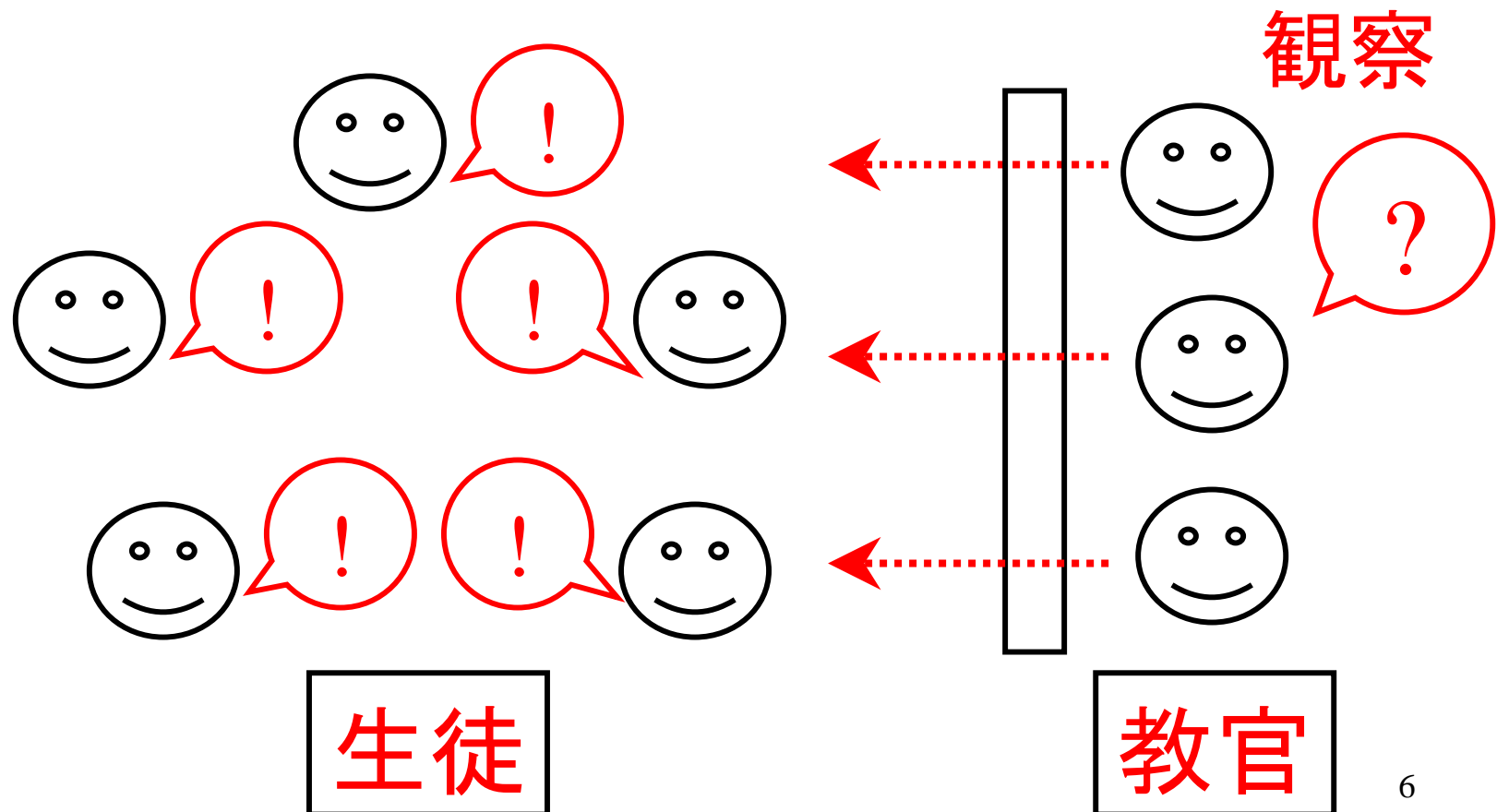
集团面接

- 生徒(複数) 对 教官(2~3人)



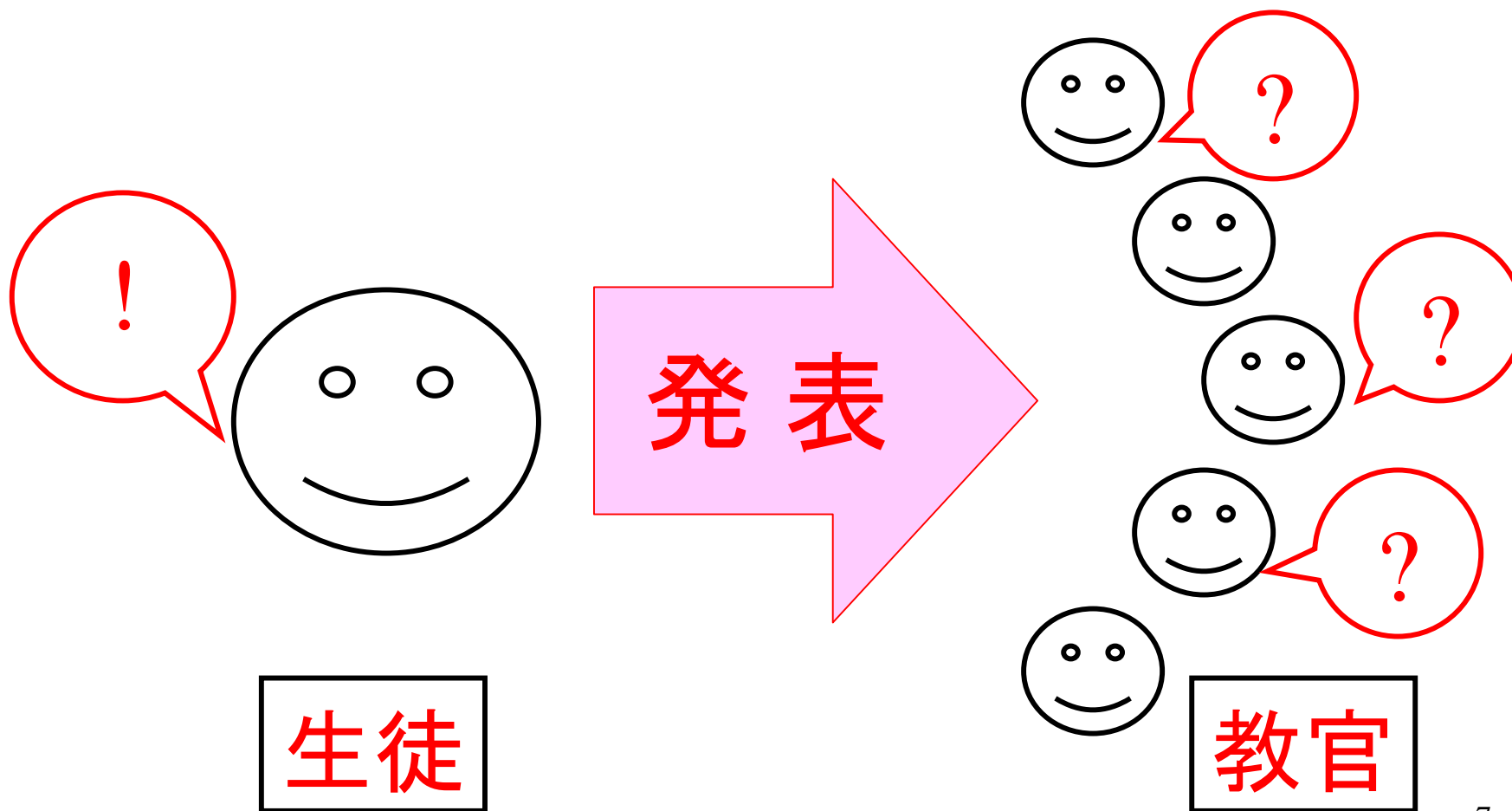
グループディスカッション

- 生徒(複数)の討論 ・ 教官は観察



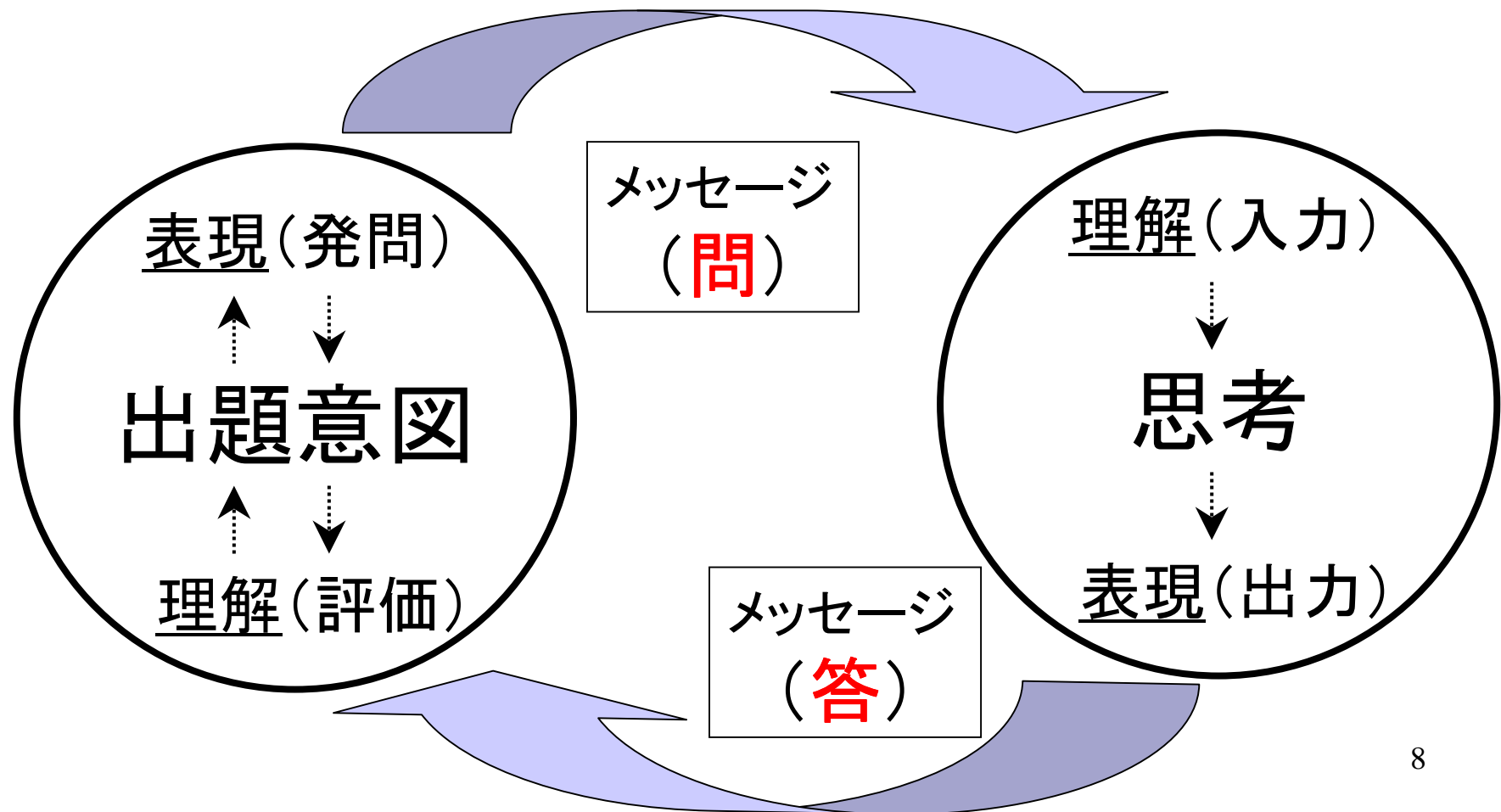
プレゼンテーション

- 生徒の教官への発表 → 質疑応答



面接 = 口頭コミュニケーション

- 応募書類、小論文、面接の共通点



面接対策もULTRA

- Understand (理解)
 - 相手、文脈、質問を理解しよう
- Logic (論理)
 - 独自の理由を基に論を考えよう
- Trimming (整理)
 - 結論先行Main Point 1stで答えよう
- Action (表現)
 - 表情・態度や発声にも注意しよう

Understand (理解)

- 相手 (面接官) を理解する
 - 面接官 (大学教員) とはどんな属性の人か
 - 学生とのかかわりのメインは「学問」指導
- 文脈 (入学試験) を理解する
 - 何のために入試を行うか
 - 「入る気がある」かつ「欲しい」学生の採用
- 質問を理解する
 - 「問い」に対する「答え」になっているか
 - 日本語 (外国語) の能力や思考力も判定

Logic (論理)

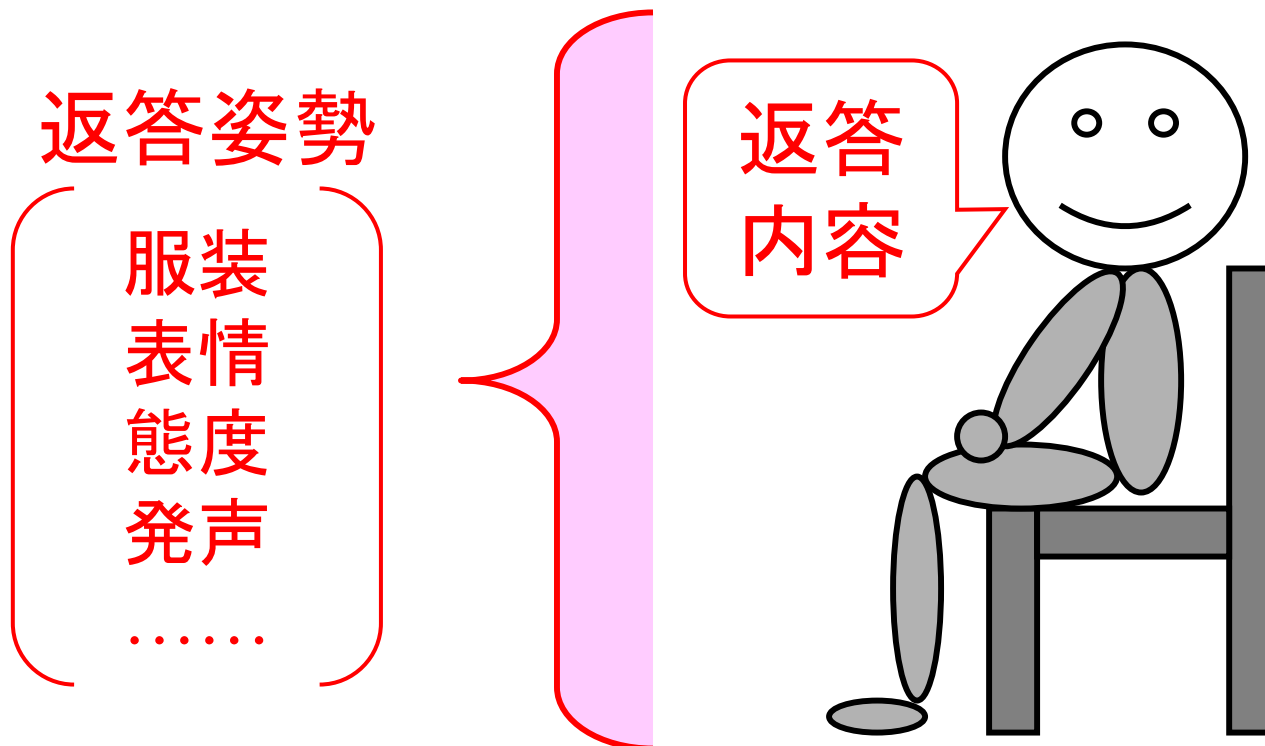
- 事前のシナリオ準備の必要性
 - 面接での質問の大半は**志望動機**
 - **提出書類**(志望理由など)に対する**質問**を多角的に**想定**
 - Why?なぜか、How?どうするのか、For example?例えば.....
 - **想定質問**に対する**論理的な回答**の準備
 - **高校生活**についても問われる
- **唐突な質問**にも**論理的思考**で対処
 - 予め想定していなかったことを問われたら
 - その場で**論理的思考**(**帰納法**または**演繹法**)
 - 自身の**経験**から「答え(論)」を導く
 - 自身の**価値観**(**譲れぬ信条**)から「答え(論)」を導く

Trimming (整理)

- 相手が知りたい情報は「**答え**」
 - 質問に対する**回答**は**ストレート**に
 - 答え ⇒ 理由 ⇒ 答えの確認 ...**Main Point 1st**
- 「**なぞかけ**」からの学び
 - 「○○とかけて何と解く(**問い**)」
 - 「◎◎と解く(**答え**)」。「そのころは.....でしょう(**理由**)」
- **エレベータートーク**からの学び
 - 忙しい人の**関心を引く**には
 - **短い時間で、相手の関心事**に合わせた内容を準備する
(**戦略的思考**)

Action (表現)

- 対面コミュニケーションで伝わるもの
 - 返答内容 (言語情報)
 - 返答姿勢 (非言語情報.....「見た目」「聞き心地」)



AO・推薦入試!ULTRA攻略法

面接・集団討議・プレゼン対策

第2講

【面接で評価されるポイント】

Career Development Adviser
(厚生労働省指定キャリア・コンサルタント)

クロイワ 正一

【 本講座の流れ 】

1. 入試面接の実際

2. 面接で評価されるポイント

3. 面接試験への準備

4. 頻出質問と模範的応答

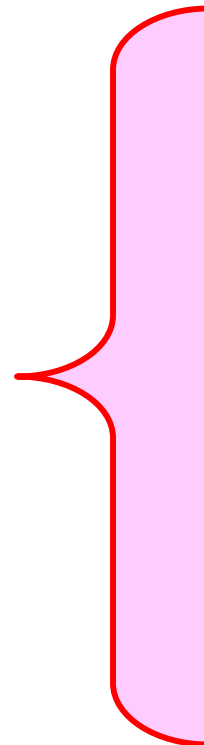
5. 集団面接・討議・プレゼン

【面接で評価されるポイント】

- 返答内容(言語情報)
- 返答姿勢(非言語情報)
 - 服装・表情・態度・発声……など

返答姿勢

服装
表情
態度
発声
……



面接で評価されるポイント(内容)

- **理解力 (Understanding)**
 - 質問内容と返答とが合っているか
- **論理性 (Logic)**
 - 返答(論)にはしっかり理由があるか
- **具体性・独創性 (Logic)**
 - 体験や観察などのエピソードはあるか
- **一貫性 (Logic)**
 - 提出書類(志望理由書など)と合っているか
- **構成 (Trimming)**
 - 聴き手が欲しい情報を先に伝えているか

答え方の基本

- まず、「**理解**」
 - 質問者のほうを向いて、うなずいたり、あいづちを打ったり、確認(繰り返し)したりする。
- 次に、「**論理**」づくり
 - 具体例も含めて「答え & 根拠」をつくる。
- そして、話を「**整理**」して「**表現**」
 - 話す**順番**は **Main Point 1st** で.....
 - それは～です(答え)。
 - なぜなら～だからです(根拠)。例えば～(具体例)
 - そうした理由で～です(答え)。

理解のスキル(傾聴)

- うなずき

- 視線を話し手に向け頭を振る

- あいづち

- 話し手に対して声で反応する

- 繰り返し

- 話し手の内容を繰り返す(反射)

- 要約

- 話す内容が長い場合は要約する

お(おおげさに)

お(驚き)

さ(誘い)

か(悲しみ)

と(止め)

う(嬉しさ表示)

な(情けかけ)

ぎ(疑念持つ)

理解のスキル(深聴)

- 質問 (Closed question から Open question へ)
 - 「閉ざされた質問」 closed question
 - 「答えが1つに決まる質問」
 - 「開かれた質問」 open ended question
 - 「なぜ? どう? 例えば?」
- 承認 (認める・ほめる)
 - 無条件の承認、理由つき承認
 - 「とにかくすばらしい」、「～だからすばらしいと思います」
- 確認
 - 自分が理解したことを確認 (反射 & 質問)
 - 「確認させていただきますが、.....ということですよ?」

論理づくり

- **好きな科目**はなんですか？

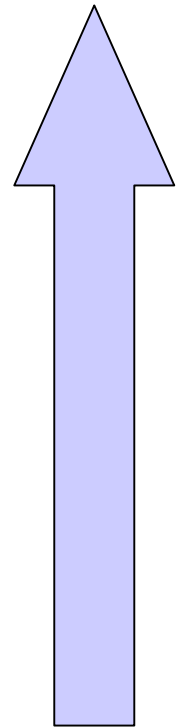
答え



根拠



事例



話の整理 (Main Point First)

- **重要ポイント (結論)** をまず述べる
「私の好きな科目は～です」



- 次に**理由・補足説明**や**具体例**を述べる
「なぜなら～からです。例えば～でした」



- **重要ポイント (結論)** を確認する
「こうした理由で、私は～好きなのです」

表現（非言語の重要性）

- **第一印象**はどう決まる？（メラビアンの実験）

– **言葉の内容**は？

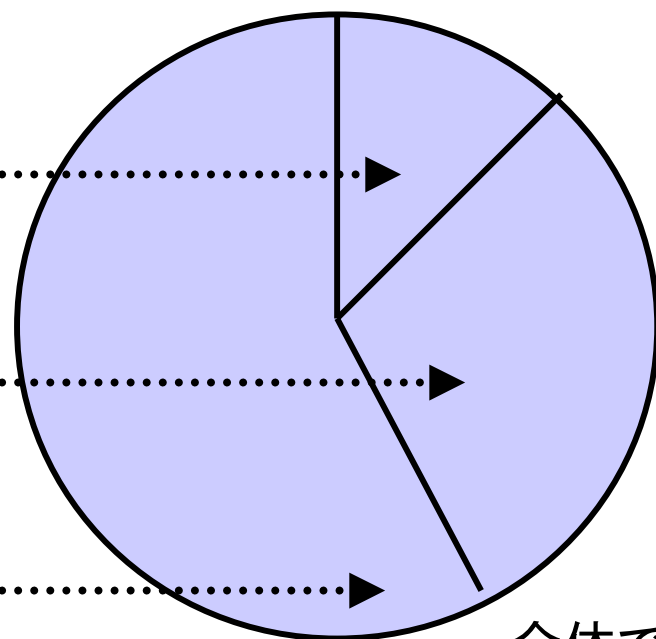
• (**7**)%

– **声の調子**は？

• (**38**)%

– **表情や態度**は？

• (**55**)%



全体で100%

表現（服装・態度・動作）

- **姿勢**

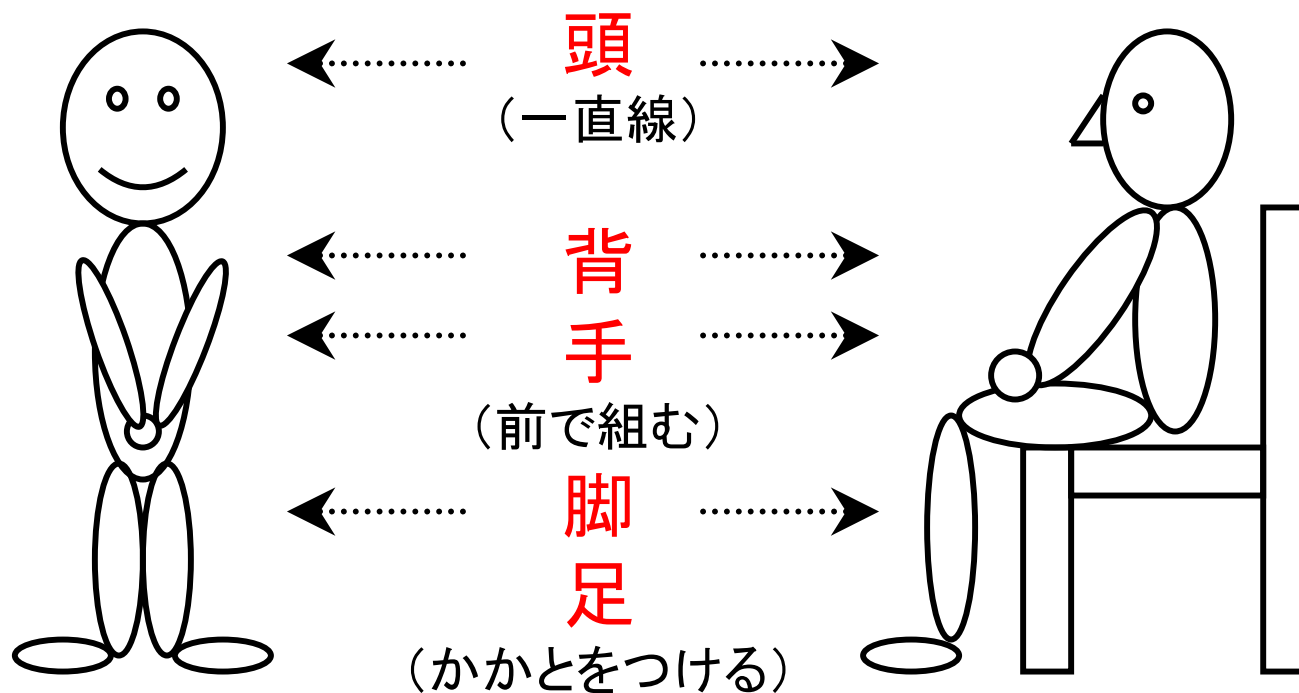
- 背すじ、視線、手、足、服装 をチェック
（「せめてあしふく」クセをつける）

- **態度・動作（静動のメリハリ）**

- **静**（メリ……「**落ち着き**」をアピール）
 - 「見られている緊張感」を忘れず存在感を示す
- **動**（ハリ……「**活動性**」をアピール）
 - 聴き手の理解を促すアクションを適宜用いる

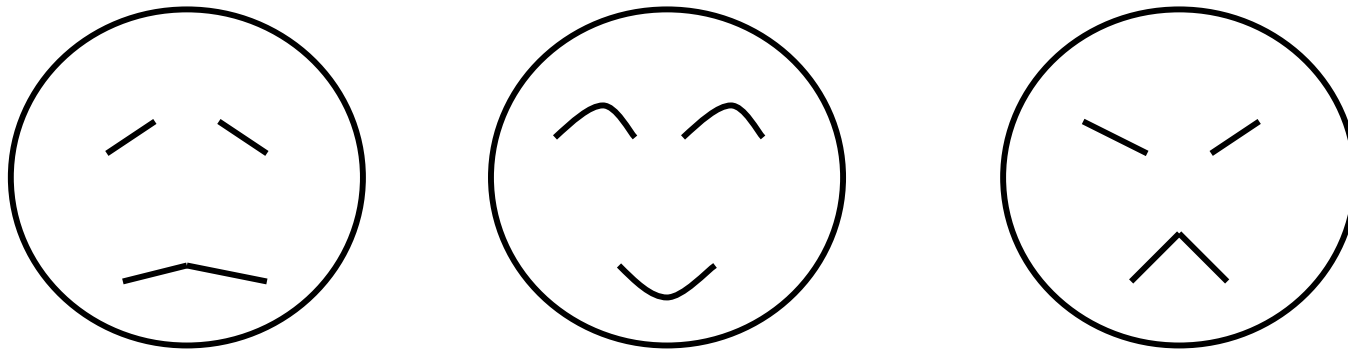
表現(せめてあしふくくせ)

- 起立のときと着席のときの非言語表現の基本



表現(表情づくり)

- **口元(口角)**と**目**がポイント!



口元と**目**の表情がイメージを決定する!

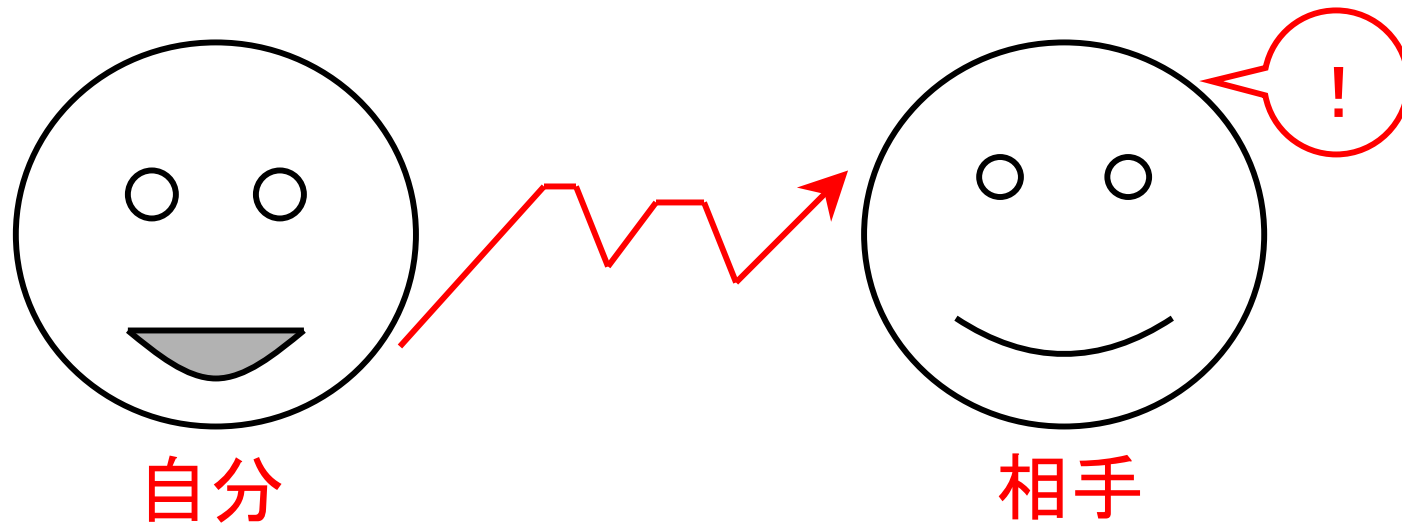
(目は大きめに開き、口元 = 口角を引き締める)

表現（発声のポイント）

- **大きめの声**
 - 親しい人との会話より大きな声（壁に反射）
 - 眉間から声を出すイメージ
- **明瞭な滑舌**
 - 一音、一音はっきりと
 - とくに語尾にいくに従って
- **メリハリ**
 - 緩急や高低を意識する（重要ポイントは緩・低）
 - 間を取ることも重要

表現（発声は「大・明・メリハリ」）

- 発声の音量、滑舌、緩急、高低を工夫すると、効果的かつ印象的に伝わる



大きく、はっきりし、緩急・高低のメリハリの効いた発声

AO・推薦入試!ULTRA攻略法

面接・集団討議・プレゼン対策

第3講

【面接試験への準備】

Career Development Adviser
(厚生労働省指定キャリア・コンサルタント)

クロイワ 正一

【 本講座の流れ 】

1. 入試面接の実際
2. 面接で評価されるポイント
3. 面接試験への準備
4. 頻出質問と模範的応答
5. 集団面接・討議・プレゼン

【 面接試験への準備 】

- シナリオづくり
 - 「頻出質問」への回答を考える
- イメージトレーニング
 - ところの中で面接風景をイメージする
- シャドートレーニング
 - 実際に体の動きを伴って一人芝居をする
- リハーサル(模擬面接)
 - 面接官役をお願いして予行演習をする
 - 「模擬面接ごっこ」も有効
- リスクマネジメント(面接に向けた危機管理)³¹

シナリオづくり

- 頻出質問にはシナリオをつくっておく

「なぜこの大学を志望したのですか」

「なぜこの学部・学科を志望したのですか」

「他大学と併願していますか。全部合格したらどうしますか」

「入学後どのような学生生活を送りたいですか」

「大学や同窓生に対してどんな貢献ができますか」

「卒業後はどんな方面に進みたいですか」

「将来の夢を実現するためにどんな努力をしてきましたか」

「あなたの得意科目と苦手科目は何ですか」

「学業以外であなたの特技、得意なことは何ですか」

「あなたの性格を一言で表現するとどう言えますか」

「あなたの長所と短所はどこですか」 などなど

シナリオ構成1 (Main Point First)

- **重要ポイント**(**答え**)をまず述べる

「志望動機は～を学び、卒業後～したいからです」



- 次に**補足説明**や**具体例**を述べる

「なぜなら、～に強い興味を持っているからです。

例えば、～といったことがありました」



- **ポイント**(**結論**)を**確認**する

「こうして、私は貴学で学び、～になりたいのです」

シナリオの構成2 (Whole Part法)

- 全体像 (whole) を数字で提示

「貴学の○、●、◎の3点に魅力を感じ志望しました」



- 詳細部分 (part) の解説

「第一に○は～。第二に●は～。

そして、第三に◎は～」

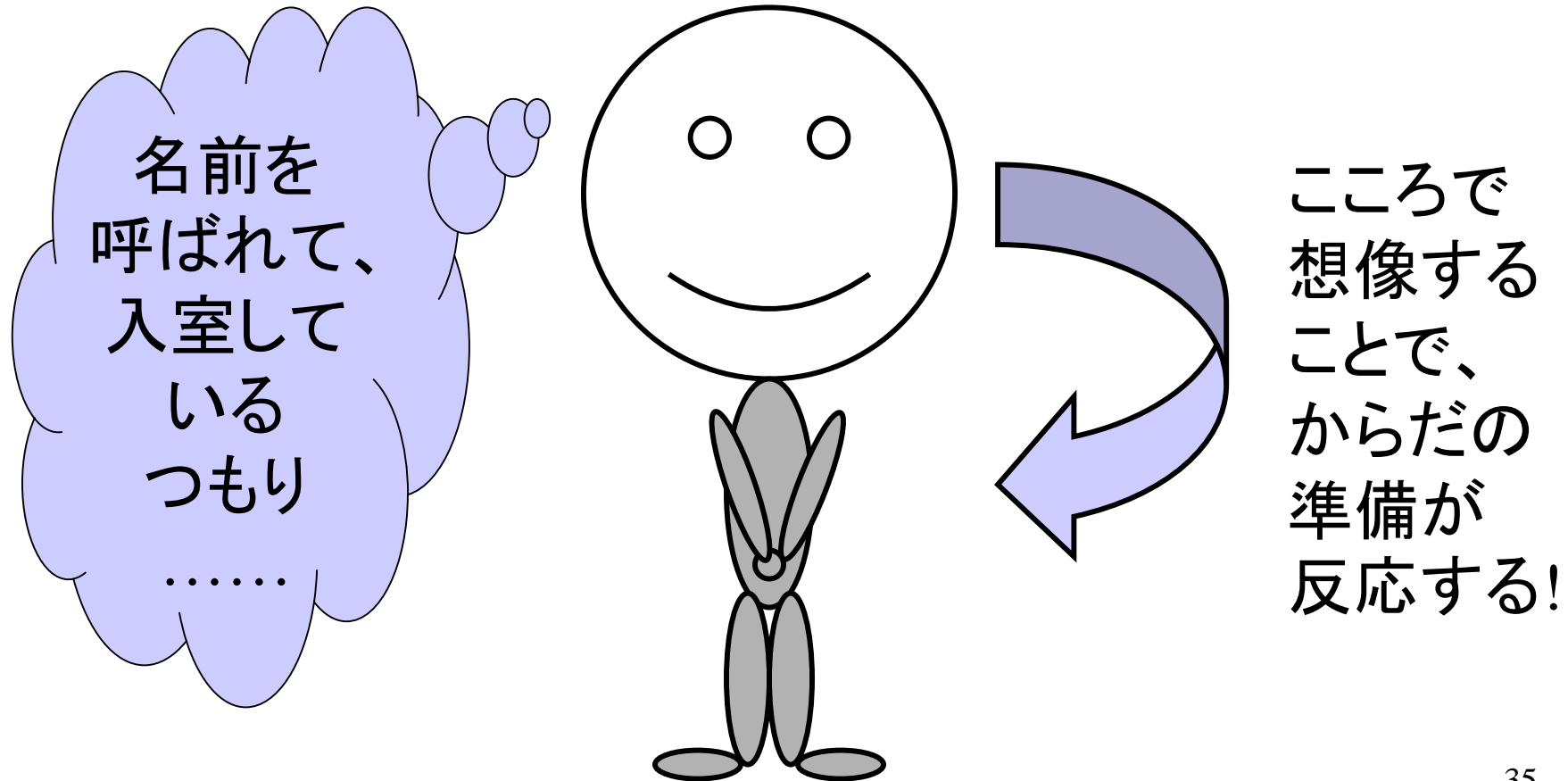


- 全体像 (whole) の確認

「以上、○、●、◎の3点に魅力を感じ応募しました」

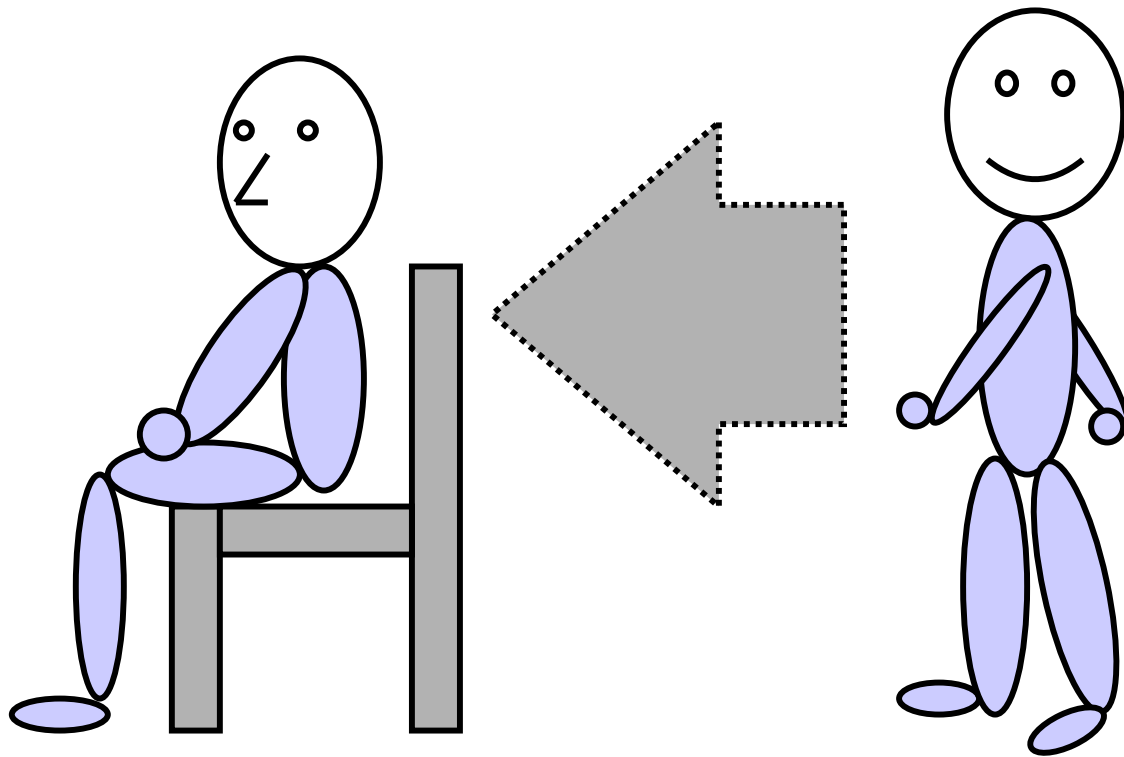
イメージトレーニング

- **こころ**の中で面接を受けている姿を**想像**する!



シャドー 트레이ニング

- 一人芝居で発声と動きの感覚をつかむ!
 - 五感で感じて微調整する



実際に動き、
発声すること
によって、
よりリアルな
感覚をつかむ!

リハーサル(模擬面接)

- 評価基準に従って採点してもらおう!

返 答 内 容	質問・文脈・相手を理解しているか(理解力)	1 2 3 4 5
	答えに対して理由がついているか(論理性)	1 2 3 4 5
	答えに証拠(具体例)がついているか(具体性)	1 2 3 4 5
	他の質問や提出書類と矛盾がないか(一貫性)	1 2 3 4 5
	話す順序はわかりやすく整理されているか(構成)	1 2 3 4 5
返 答 姿 勢	清潔感があり、整った身なりをしているか(服装)	1 2 3 4 5
	態度や動作は活発さや落ち着きがあるか(動作)	1 2 3 4 5
	表情に意欲に満ちた明るさや誠実さはあるか(表情)	1 2 3 4 5
	聞き取りやすく、大きくはっきりした声であるか(発声)	1 2 3 4 5
	「自分は観られている」といった感覚はあるか(配慮)	1 2 3 4 5

※ 採点基準 1:悪い 2:少し悪い 3:普通 4:まあ良い 5:よい

リスクマネジメント(危機管理)

- 面接試験の「**予期せぬ危機**」をどうするか
 - **体調不良**になったら
 - まずは**体調管理**が大切だが.....
 - **交通機関に遅れ**が生じたら
 - 現場への**30分前到着**は常識だが.....
 - アガってしまったら(**緊張**).....
 - **知らないこと**を聞かれたら.....
 - 返答は**訂正**してもいい.....
- 大切なのは「**誠意**を以って答える」こと

体調不良

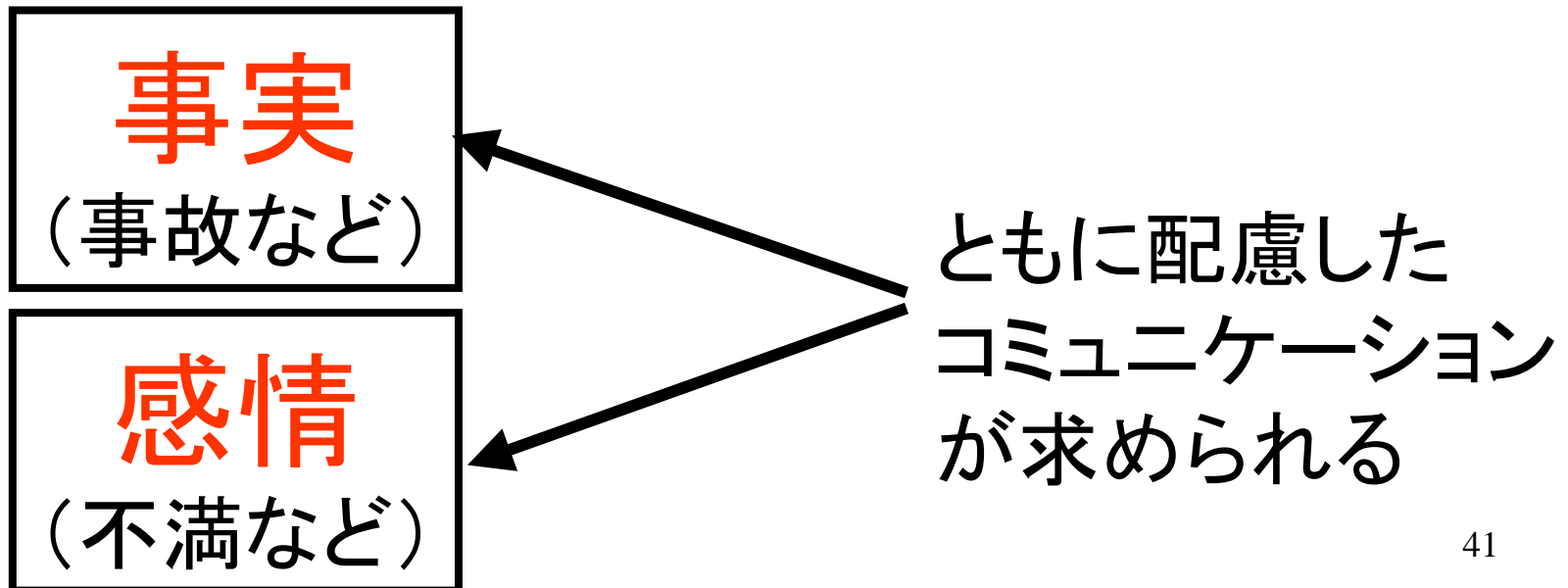
- まずは**体調管理**が大切
 - 数日前からの**体調管理**
 - 生もの、冷たいものは飲食しない
 - **早寝・早起き**の習慣……など
- **予期せぬ体調不良**への対応
 - 急な怪我、体調不良があったらどうするか
 - 面接会場での速やかな**事情説明と指示受け**
 - 「先日、下校中後ろから自転車に追突され、腿の肉離れを起こしてしまったのですが、着席しているとき、姿勢を崩すことがありますがお許しください」など
 - マイナスをプラスに
 - **説明**は「**礼儀正しさ**」「**コミュニケーション力**」の印象づけ

交通機関の遅れ

- 面接会場には「30分前に着く」意識を!
 - 原則は「遅刻をしたら面接は受けられない」
 - 事前の下見をしておくことが重要
 - 理想は1時間前の面接会場入り
 - 人間の精神の安定は「慣れ」に従う
 - 5分前に来た人よりも、1時間前に来て会場の雰囲気を感じた人の方が落ち着く
- 予期せぬ事故や自然災害への対処
 - 交通機関の全面ストップなど
 - 事態判明段階での早期連絡、指示受け

事実と感情の双方を伝達

- 「遅刻」という**事実**に対して、どのような**感情**が生ずるかを考えよう。
 - **自分の感情**: 不満、困惑、後悔……
 - **相手の感情**: 不満、疑念、失望……



Assertive communication

- 柔軟に自分の望みを通す (win - win)
 - ラポール (信頼関係) の形成.....
 - 同調, 傾聴, 質問, 承認, 提案.....の駆使
 - 相手の思考をリードしダメモトを通す
 - 陳謝 : 真摯に丁寧に謝る
 - 感謝 : 「ありがとうございます」と感謝する
 - 肯定表現 : 「～できます」が大切
 - “I”メッセージ : 「私は.....」の姿勢を出す
 - 戦略的思考 : 相手のメリットも考えよう

面接遅刻伝達シナリオ（例）

- ポイントは「**陳謝、感謝**」と「**肯定表現**」。
 - （はい、〇〇大学入試課です）
 - 10時30分に面接に伺う予定だった〇〇です。実は.....事故で20分ほど遅刻しそうなのです（**肯定表現**）。大変申し訳ありません（**陳謝**）。貴学が第一志望で、ぜひ受験させていただきたいのですが（**“I” message**）、どのようにすればよろしいでしょうか。高校の先生からも、貴学への進学実績を繋ぐためにも、私が合格するよう期待されています（**戦略的思考**）
 -
 - 柔軟なご対応ありがとうございます（**感謝**）。

アガリ(緊張)への対処

- アガリ(緊張)は悪いことではない.....
 - ヒトが緊張するのは**臨戦態勢**に入るため
 - 緊張状態とは.....**心臓の拍動が速くなること**
 - なぜ、**心拍数**が上がるか? ⇒ **臨戦態勢**に入るため
- アガリ(緊張)にどう**対処**するか
 - 「アガリ(緊張)」を**前向き**に捉える
 - 今日も緊張感が保てていてよかった!
 - この歳になっても緊張する自分はカワイイ!!!
 - **心拍数を安定**させるために.....**深呼吸**
 - 心拍数は**自律神経**による**不随意**活動
 - **随意(意識)**と**不随意(無意識)**をつなぐのが「**呼吸**」

「知らないこと」への質問

- 基本は**事前準備**すべき
 - 大学、学部、専攻分野に関する**調査**の必要性
- 事前の**準備を超える質問**もある
 - 調査範囲を超える知識を問われた場合の対処
 - **正直**に「知らない」旨を吐露
 - 「知ったかぶり」は誠意を疑われる……
 - それで面接が終わると「準備不足」のマイナスイメージ
- 「**ポジティブ返し**（肯定的な反応）」の重要性
 - マイナスをプラスに変える**未来志向**（知的好奇心）
 - 「そのことは知りませんでした、とても興味がありますので、早速帰りに書店（図書館）で調べてみます。ありがとうございました……」

返答内容の訂正

- 返答した**回答内容**を**訂正**したいときは.....
 - 時間との勝負面接.....**本意でない回答**もある
 - **本意でない返答**は**訂正**すべき
- **訂正がコミュニケーションの機会**になる
 - 返答の訂正=**リーダーシップ発揮の機会**
- **訂正方法**
 - 訂正の**許可**を取る必要性
 - 「先ほど、.....について『知らない』といましたが、訂正してもよろしいでしょうか。思い出したのです」
 - **誠実さ**の訴求

誠意の重要性

- **問われたくないことを質問されたら**
 - 出席率や評定平均の低さ、部活動入部実績のなさなど
- **未来投げやポジティブ返しで対処**
 - 過去に失態があってもそこから**学ぶ姿勢**が評価される
 - 「未来への**努力**」といった**ポジティブな姿勢**が重要
 - 「欠席や遅刻の理由は、ほとんどが病欠です。高校1年生の2学期から、精神的に不安定になり、不眠症におそわれたのです。それで、朝なかなか起きられなくて、欠席したり、遅刻したりしました。しかし、2年生の後半から、大学受験という目標ができ、こころも安定してきたので、しっかり出席するようになりました。私にはこうした経験があるので、大学に入っても体調管理やこころの管理には気を配ります」など。
- **圧迫面接の意図はストレス耐性（メンタフ）診断**
 - 「答えにくい質問にも応じてくれた」といった反応が評価に。

AO・推薦入試!ULTRA攻略法

面接・集団討議・プレゼン対策

第4講

【頻出質問と模範的応答】

Career Development Adviser
(厚生労働省指定キャリア・コンサルタント)

クロイワ 正一

【 本講座の流れ 】

1. 入試面接の実際
2. 面接で評価されるポイント
3. 面接試験への準備
4. 頻出質問と模範的応答
5. 集団面接・討議・プレゼン

面接試験での頻出質問

- 志望動機に関する質問
 - 大学選択の動機、学部選択の動機など
- 成長過程に関する質問
 - 得意科目、部活動、課外活動など
- 価値観・信条に関する質問
 - 好きな言葉(座右の銘)、こだわりなど
- 現代社会への問題意識に関する質問
 - 情報化、グローバル化、少子高齢化など

ULTRAに基づく応答を

- Understand (理解)
 - 相手、文脈、質問を理解した応答
- Logic (論理)
 - 独自の理由を備えた応答 (論)
- Trimming (整理)
 - 結論先行 Main Point 1st の応答
- Action (表現)
 - 表情・態度や発声にも注意した応答

質問例①(大学志望動機)

- この大学を志望した理由は？

1. 貴学を志望した理由は、私が専攻したい応用生物学についての学習環境が整っているからです。図書館には生物学関連の蔵書も非常に多く、全国各所に観測所、研究所を備えており、理論と実践の双方を鍛えられるからです。

2. 生物が大好きなので、生物学が学べる学部を探したところ、貴学が一番近いので第一志望とさせていただきます。私は女の子なので、自宅通学しか許されず、また、浪人することも認めてもらっていません。貴学の自己推薦入試は、成績表の評定平均も低く設定しており、他の大学と比べて定員も多く、しかも数学の苦手な私でも受験できます。そうした好条件がそろっているため、貴学の推薦入試に応募しました。

選ぶ理由は肯定的に

- 大学の**肯定的側面**.....必然性のある動機
 - **学習環境の整備**
 - 図書館における**蔵書の多さ**
 - 観測所、研究所などの**施設・設備の充実**.....など
- 大学の**否定的側面**.....必然性感じさせない
 - **入りやすい**
 - **受験資格が甘い**(評定平均の低さ)
 - **受験科目が少ない**(数学がない)
 - **出やすい**
 - **卒業しやすい**(進級試験が甘い).....など

質問例②(学部志望動機)

- この学部を志望した理由は？

1. 志望理由書にも書きましたが、私が貴学文学部歴史学科を志望した理由は、将来中学か高校の社会科の教師になり、青少年に歴史を批判的に見る必要性を教えたいからです。そのためには、教職に必要な単位も取れ、「批判的歴史観」の研究を進めている貴学部で学ぶことが最適であると考えたのです。

2. 私は日本史が大好きなので、こちらの大学の文学部で歴史を学ぼうと思いました。歴史小説を読んだり、大河ドラマを見たりしていると、本当に時が経つのも忘れてしまいます。大河ドラマへの出演は大女優への登竜門にもなっています。

大学は学問をするところ


- 「**大学**」という器は**学問**のためにある
 - ハード(施設・設備)
 - ソフト(制度・カリキュラム)
 - ヒューマン(教職員)
- **学問との関連性がない**志望動機は**NG**




大学＝学問の場

質問例③(理想の学生生活)

- どんな学生生活を送りたい？

 1. 工学系の専門科目だけでなく、文系の一般教養の授業なども積極的に履修したいと考えています。なぜなら、受験では理系の科目を中心に勉強してきたからです。また、健康のため、さらに、人間関係を学ぶために、運動系のサークルに所属することも計画しています。

 2. 苦労して大学に入り、卒業後は働かなきゃなりませんから、学生時代は思いっきり青春を謳歌したいです。生活の中心は、サークル活動になると思いますが、恋愛をしたり、アルバイトをしたり、大人の世界に溶け込む努力をします。私の父も「学生時代はモラトリアムだ」と言っていました。

面接官（教官）の仕事に配慮

- **大学教員の3つの仕事**
 - **研究**: 自分の専攻分野の探求
 - 調査、論文執筆、学会での発表など
 - **教育**: 学生の指導
 - 講義、単位認定、ゼミ(研究室、研究会)での指導など
 - **経営**: 大学運営を教授会にて検討
 - 入学試験実施、新学部設置など
- こうした仕事を抱える**教官の価値観**
 - **学究意欲旺盛な学生**は.....採用したい
 - **学問への興味を示さない学生**は.....採りたくない

質問例④（他学との併願）

- 他[○]の大学とは併願[○]している？

- ◎ 1. 他大学の自己推薦入試にも応募していますが、貴学が第一志望ですので、合格したら入学させていただきます。
- ◎ 2. いいえ。他大学との併願はありません。貴学専願ですので、入学を強く望んでいます。
- ? 3. 他に第一志望の大学を受験しています。両方とも合格したら、そちらに入学させていただきます。
- ? 4. こちらよりも偏差値の低い大学の学部を2学部受けています。しかし、あくまでもスベリ止めですので、入学するつもりはありません。貴学に絶対に入りますので、ぜひとも合格させてください。

「本命でない」学生は採りたくない

- 「他学併願」に関する応答の原則
 - 「うそ」をついてはいけない……バレル
 - 併願しているのなら、そう答えるべき
 - 「第二志望以下」は言う必要がない
 - 「受けているところが第一志望」の気持ちで臨もう
 - 受験前の「第二志望以下」に入る可能性もある
 - 受験している大学の「良い点」に注目する
 - 「スベリ止め」宣言を不合格にする面接官の思考
 - 実際には入らない可能性が高い(事実)
 - 敬意を払わず気に喰わない(感情)
 - 気合が入らないため真摯に映らない(意欲)

質問例⑤(卒業後の展望)

- 大学卒業後の展望は？



1. 志望理由書にも書きましたが、学部で学ぶマーケティングの知識や手法を使える仕事に就こうと考えています。メーカー、流通、コンサルティングなど、具体的な業種については、入学後に研究します。



2. 卒業後はなにがなんでもキー局のアナウンサーになります。数年後、バラエティ番組の司会をしている自分が目に浮かびます。



3. まだ大学に入る前なので、正直言って、卒業後のことについては、まったく考えていません。どうせ4年後の日本社会は変わっているでしょうから、今から考えても仕方ないと思いませんか。

AO・推薦入試に将来展望は必須

- 遠未来展望を描く必要性
 - ほとんどのAO・推薦入試では遠未来を問う
 - 遠未来展望を描く「決断力」が問われている
 - 今、決断できない人は、将来も決断できない
 - 環境変化に応じた継続的な決断が大切
 - 確固たる遠未来の展望で近未来も明確になる
 - 「なりたい未来」像が明確なら学業にも注力できる
- リアリティ(現実性)と連続性を備えた展望を
 - 現実性の乏しい遠未来は「幼さ」を露呈する
 - 学部の専門と連続性のない遠未来は不自然

社会問題に関する事前学習

- **少子・高齢化**：その原因・影響・課題・対策など
- **環境問題**：地球温暖化、酸性雨、オゾン層破壊など
- **高度情報化**：ITの功罪、メディアリテラシーなど
- **性差問題**：ジェンダーフリー、女性の社会進出など
- **教育問題**：学級崩壊、義務教育改革など
- **グローバル化**：「地球規模での交流」の功罪など
- **市場経済論**：物質的豊かさの達成と人間疎外など
- **文化論**：異文化理解、自文化理解など
- **国家論**：「大きな政府と小さな政府」論など
- **医療問題**：先端医学と生命倫理（bioethics）など
- **食糧問題**：食料輸入、個食（孤食）など

AO・推薦入試!ULTRA攻略法

面接・集団討議・プレゼン対策

第5講

【 集団面接・討議・プレゼン 】

Career Development Adviser

(厚生労働省指定キャリア・コンサルタント)

クロイワ 正一

【 本講座の流れ 】

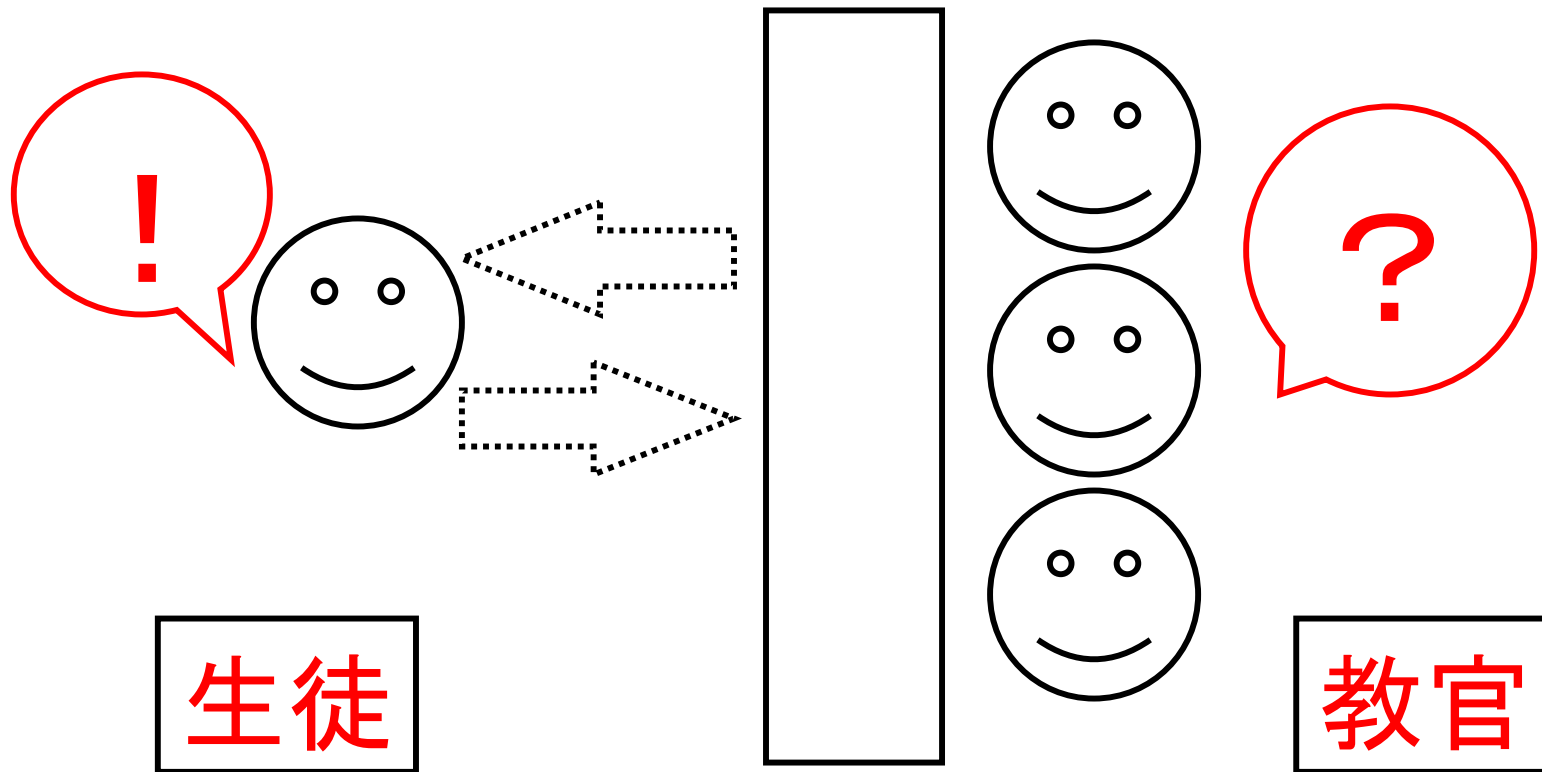
1. 入試面接の実際
2. 面接で評価されるポイント
3. 面接試験への準備
4. 頻出質問と模範的応答
5. 集団面接・討議・プレゼン

【 面接形式の種類 】

- 個別面接
 - 受験生1人と面接官の問答
- 集団面接
 - 受験生複数と面接官の問答
- グループディスカッション
 - 受験生間での討論
- プレゼンテーション
 - 教官の前での発表と質疑応答

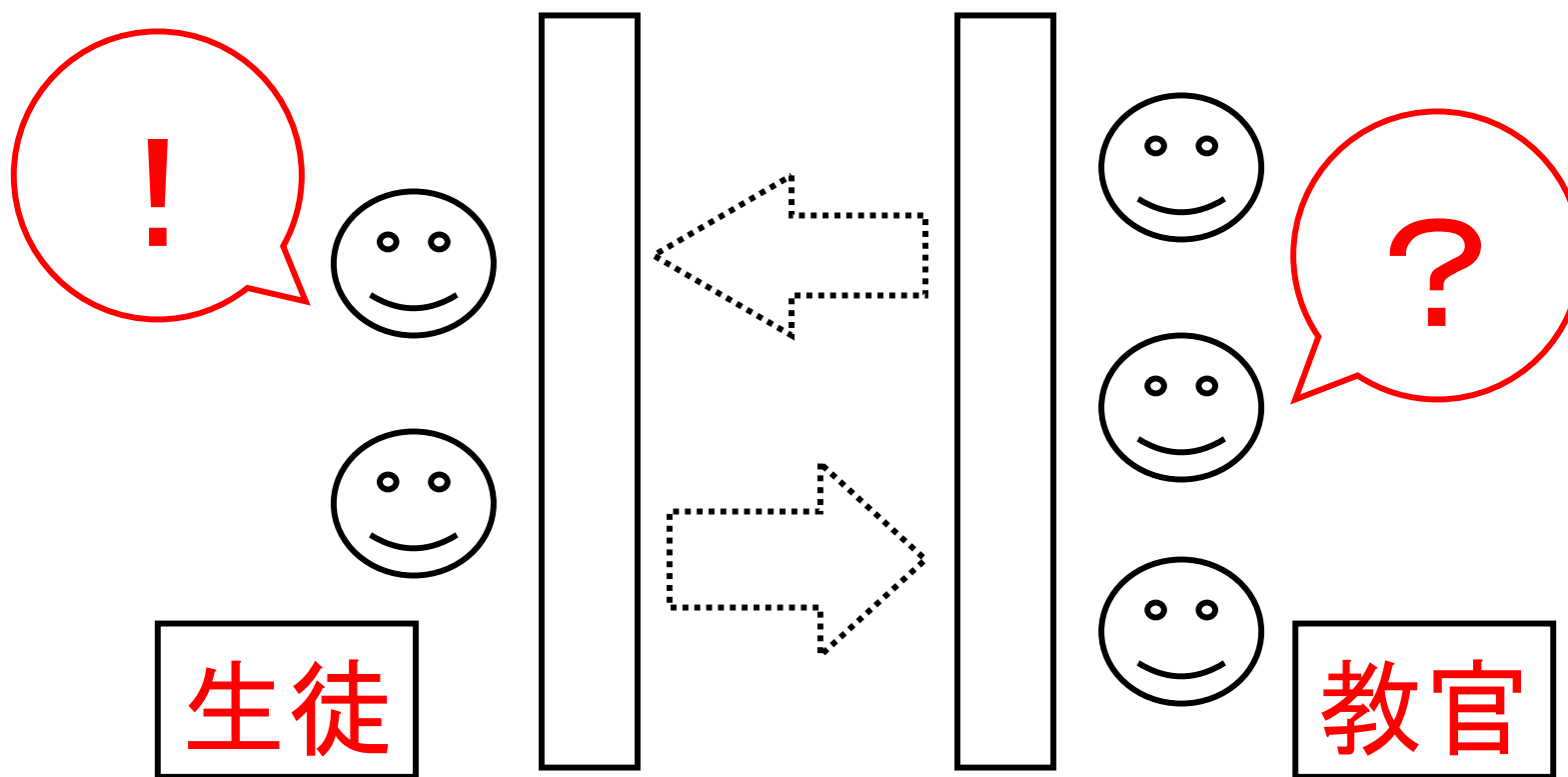
個別面接

- 生徒1人 対 教官(2~3人)



集团面接

- 生徒(複数) 对 教官(2~3人)



集団面接の注意点

- 相手の存在を意識する
 - 気配り(協調性)、関連づけも大事
 - 「先に答えさせてもらいます」、「どうぞ」
 - 「私の場合は……」など
- 危機管理意識も持っておこう
 - 同じ答えを先に言われる可能性もある
 - そうしたときに、焦りは禁物
 - 急に違うことを考えていう必要はない
 - ただし、そのまま同じことを言うのは不自然
 - 堂々と「偶然ですね」などと応じる

集団面接（応答例）

- 大学卒業後の展望

- 面接官：それでは、本学卒業後の展望について述べてください。では、〇〇さんからお願いします。

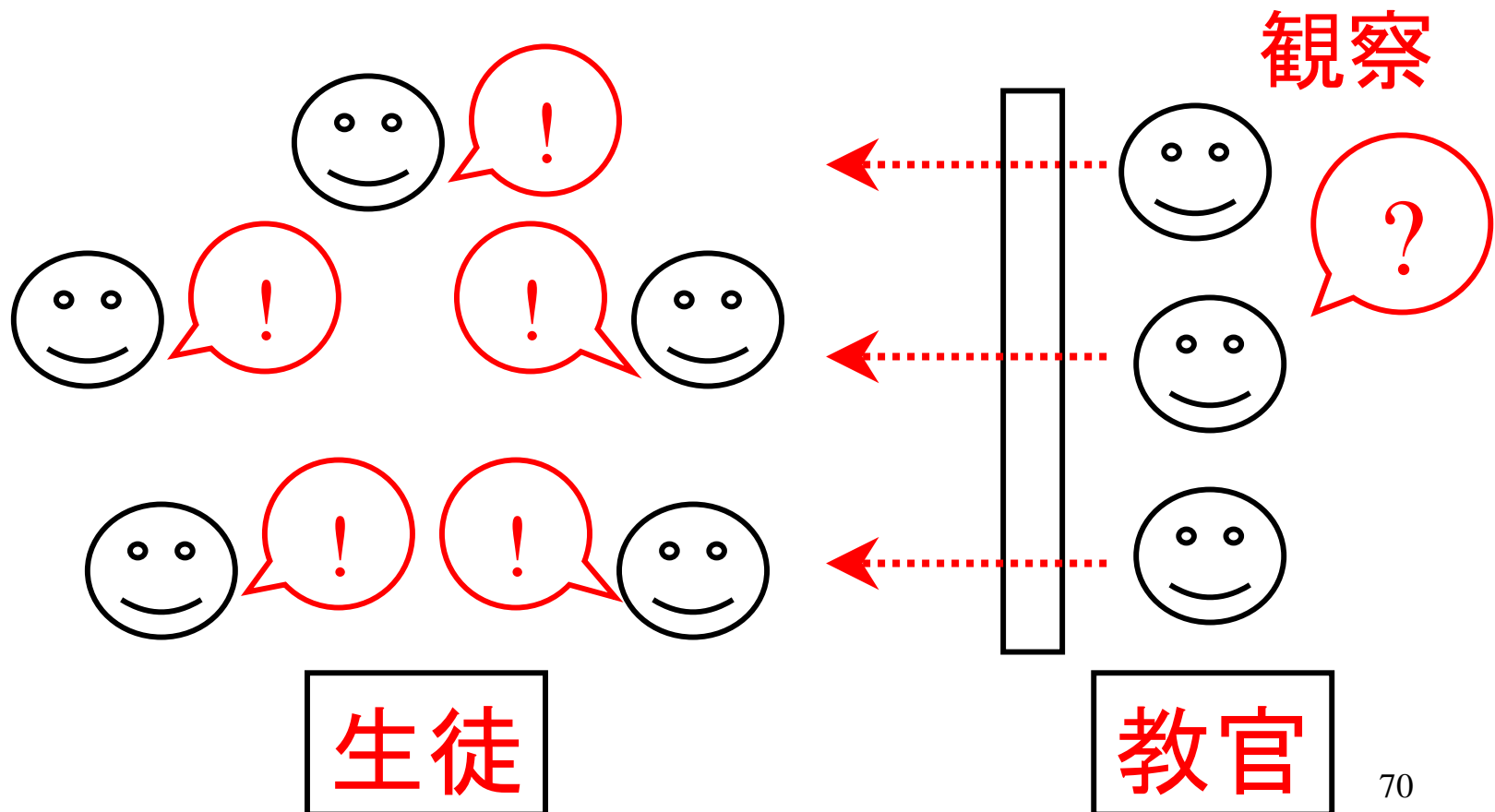
- 〇〇：はい、私は、貴学経済学部にて開発経済学を学び、卒業した後は、途上国とのフェアトレードを支援する仕事に就きたいと考えています。

- 面接官：では、次に◎◎さん（あなた）。

- ◎◎：偶然ですね。先生のお手元にある志望理由書にも書きましたが、実は、私も開発経済学を学び、貴学卒業後は、途上国とのフェアトレードに関わる仕事に就くことを望んでいます。同じような志を持った方と同席できて、光栄です。

グループディスカッション

- 生徒(複数)の討論 ・ 教官は観察



グループディスカッションの注意点

- **積極的発言**が基本
 - 自分の**得意な話題**にもちこむ
 - はい、まず私から発言させていただいていいですか。
- **要約**や**整理**によって協調性、理解力を示す
 - **要約**(まとめ)、**整理**(話のグループ分け)
 - なるほど、〇〇さんのご意見は.....ということですね。
 - 〇〇さんは.....の点から、◎◎さんは.....の点からの発言ですね。では、別の立場からの意見はありますか.....。
- **話題**について**いけない**場合も存在感を示す
 - **繰り返し**(**反射**)、**承認**(ヨイシヨ)、**質問**(振り)
 - なるほど.....ということですか(繰り返し)。すばらしい意見ですね(承認)。ほかに、意見はありませんか(質問)。

グループディスカッション(応答例)

- 日本の教育の問題点(積極的発言でリード)
 - 面接官:日本の教育問題について皆さんで30分間自由に議論してください。
 - あなた:はい、**私の意見を述べさせて**いただいてもよろしいでしょうか。私自身の経験からも言えることですが、日本の義務教育の段階では、カリキュラムが固定化しすぎています。鉄は熱いうちに打てと言いますが、小学生や中学生のときに、もっと進んだ学習を望む児童・生徒には、義務教育の枠を超えても、得意科目を集中的に伸ばすような柔軟なカリキュラムがあってもいいのではないのでしょうか。皆さんはどう思いますか。
 - 一同:.....(啞然)
 - あなた:では、私と同じような意見をお持ちの方は、てをあげてもらってもいいですか。
 - 一同:はい(挙手)

グループディスカッション(応答例2)

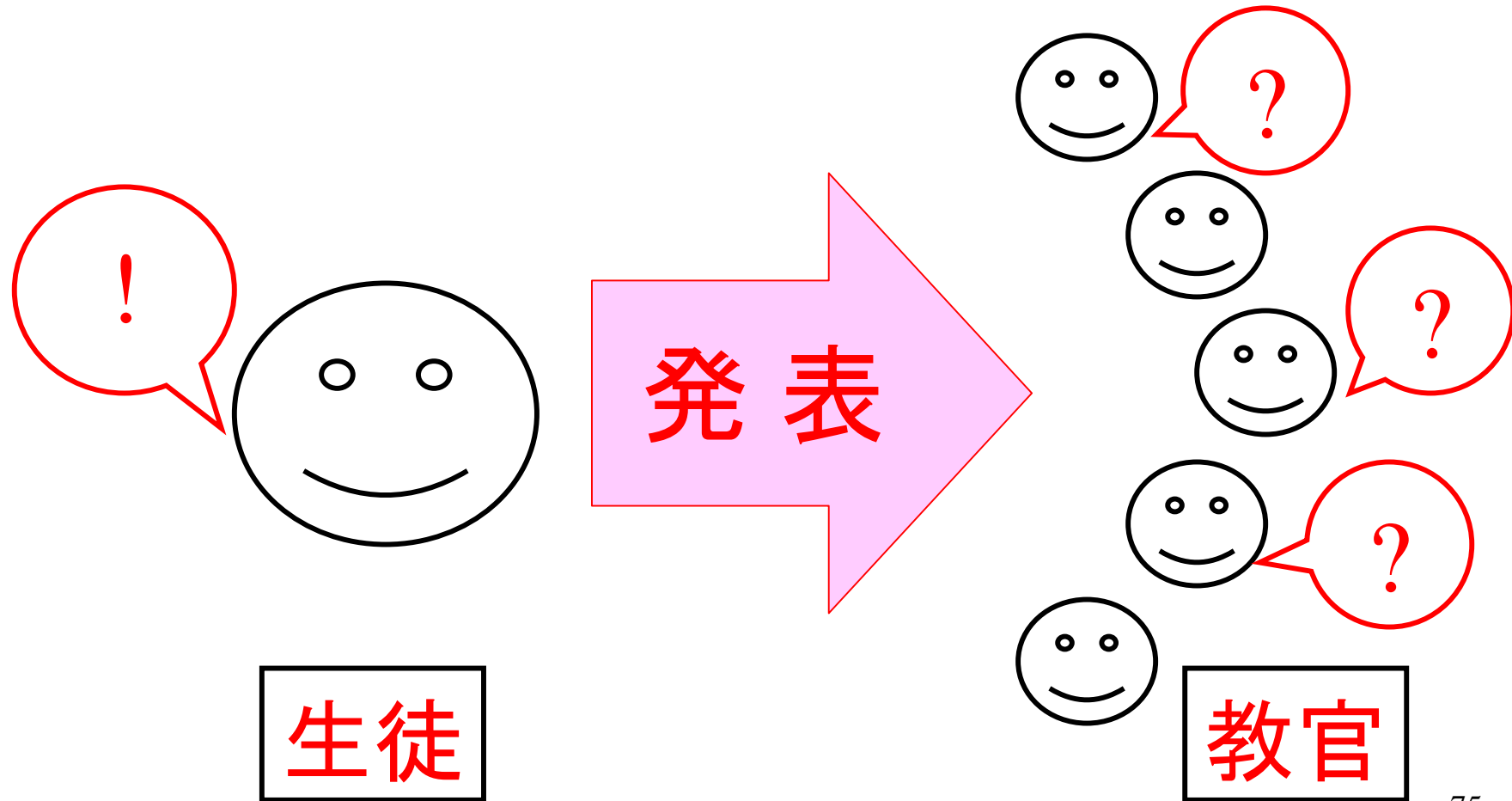
- 日本の教育の問題点(要約・整理で協調的をアピール)
 - 面接官:日本の教育問題について皆さんで30分間自由に議論してください。
 - ○○:はい、私の意見を述べさせていただいてもよろしいでしょうか。私自身の経験からも言えることですが、日本の義務教育の段階では、カリキュラムが固定化しすぎています。
 - ◎◎:私は、教師間の教育に対する温度差が問題だと思います。たまたま、私は高校1年のときに、とても英語教育に対してとても意欲的な先生に巡り合うことができ、この科目を得意科目にすることができましたが、そうでない友人は、英語に対する苦手意識を抱いたままです。
 - あなた: ○○さんは、カリキュラムの固定化という問題について、◎◎さんは、教師の意欲格差の問題について指摘されました。2つの指摘は、私自身も実感しています。ほかに意見はありませんか。

グループディスカッション(応答例3)

- 日本の教育の問題点(繰り返し、承認、質問で.....)
 - 面接官:日本の教育問題について皆さんで30分間自由に議論してください。
 - ○○:はい、私は、日本の義務教育の段階では、カリキュラムが固定化しすぎていると考えます。
 - あなた:なるほど、カ・リ・キュ・ラ・ムの固定化かあ。○○さん。**すばらしい意見**ですね。
 - ◎◎:私は、教師間の教育に対する温度差が、日本の教育が抱える大きな問題だと思います。
 - あなた:教師、つまり先生の教育への意欲の差.....ですね。◎◎さんの意見も**的を射てますね**。いろいろな意見が出ますね。さて、日本の教育が抱える問題点について、お二人からの指摘がありました。これらを深めながらお話ししましょうか。それとも、**別の問題**について、どなたか指摘して下さる方はいらっしゃいますか。

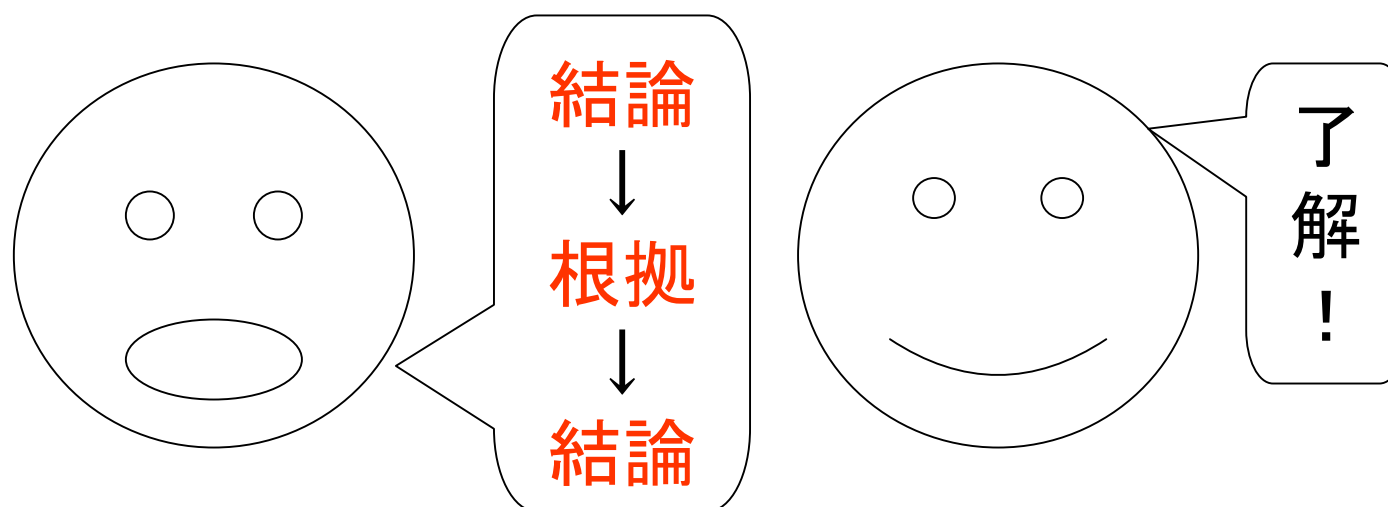
プレゼンテーション

- 生徒の教官への発表 → 質疑応答



プレゼンテーションの注意点①

- 言いたいことを先に、根拠を後から述べる！
Main Point 1st

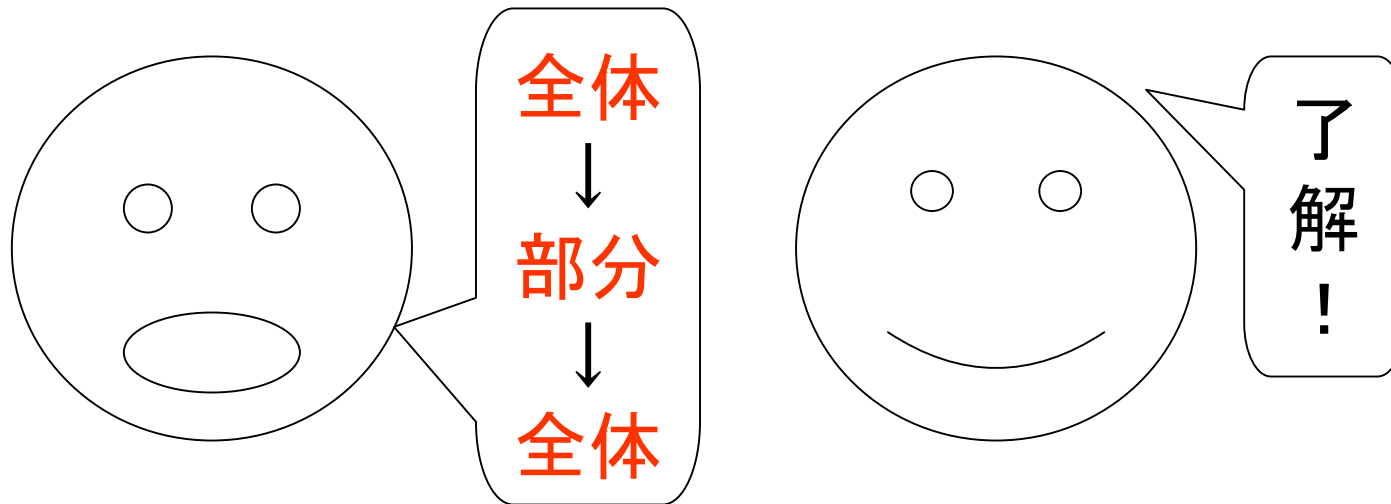


【第2講：面接で評価されるポイント】参照

プレゼンテーションの注意点②

- はじめに全体像を、次いで詳細を説明する！

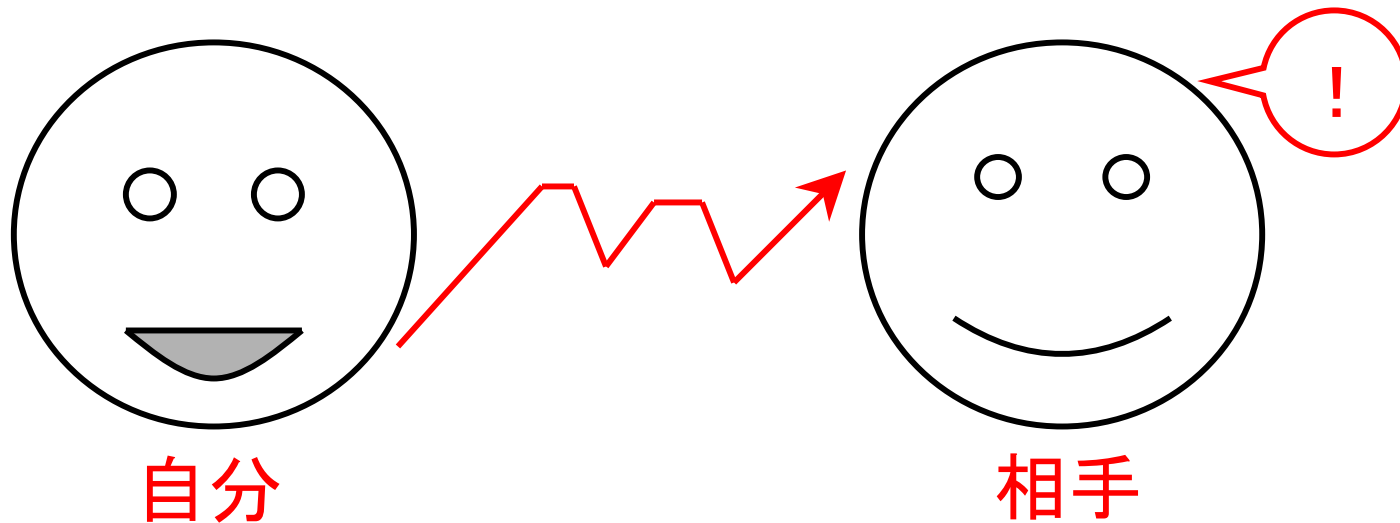
whole-part method



【第2講：面接で評価されるポイント】参照

プレゼンテーションの注意点③

- 発声の音量、滑舌、緩急、高低を工夫すると、効果的かつ印象的に伝わる

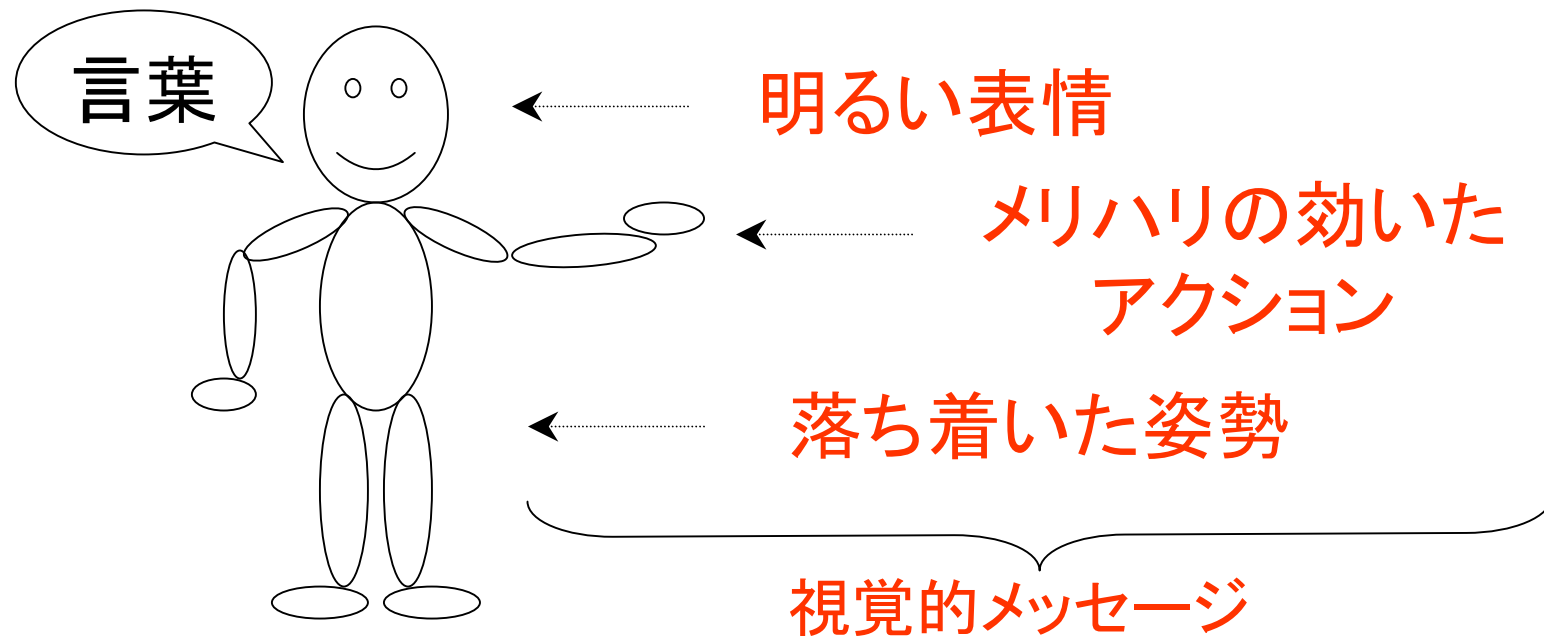


大きく、はっきりし、緩急・高低のメリハリの効いた発声

【第2講：面接で評価されるポイント】参照

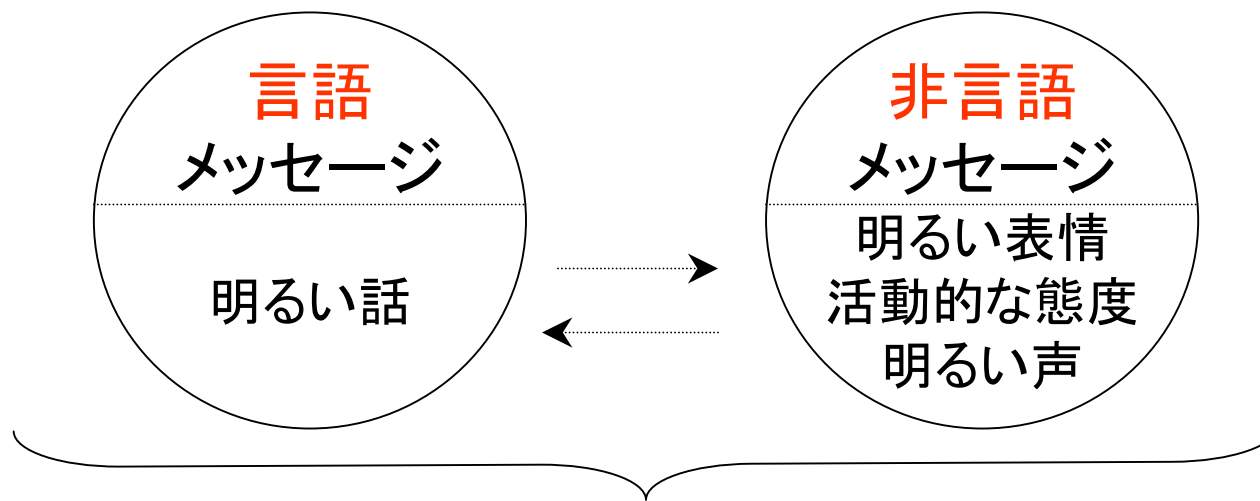
プレゼンテーションの注意点④

- **ビジュアル・メッセージ**も意識すると、意図が正確かつ印象的に伝わる！



プレゼンテーションの注意点⑤

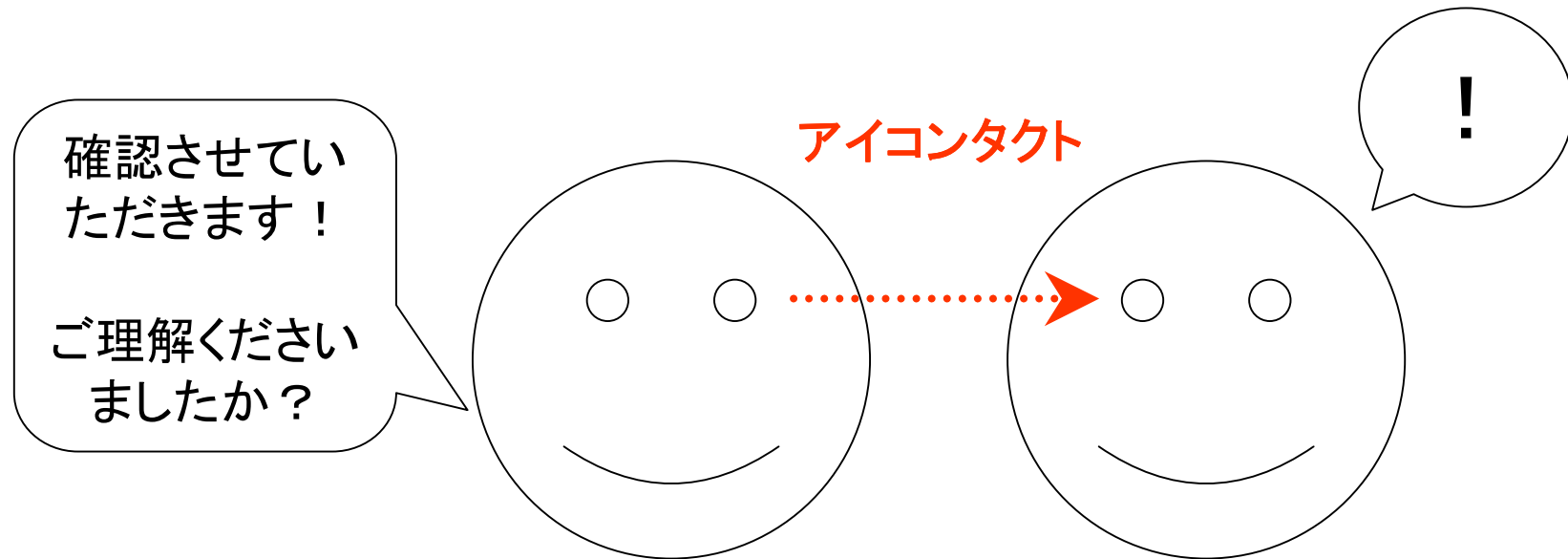
- 言語と非言語の情報の内容に一貫性を持たせると効果的なコミュニケーションができる！



効果的なメッセージの伝達

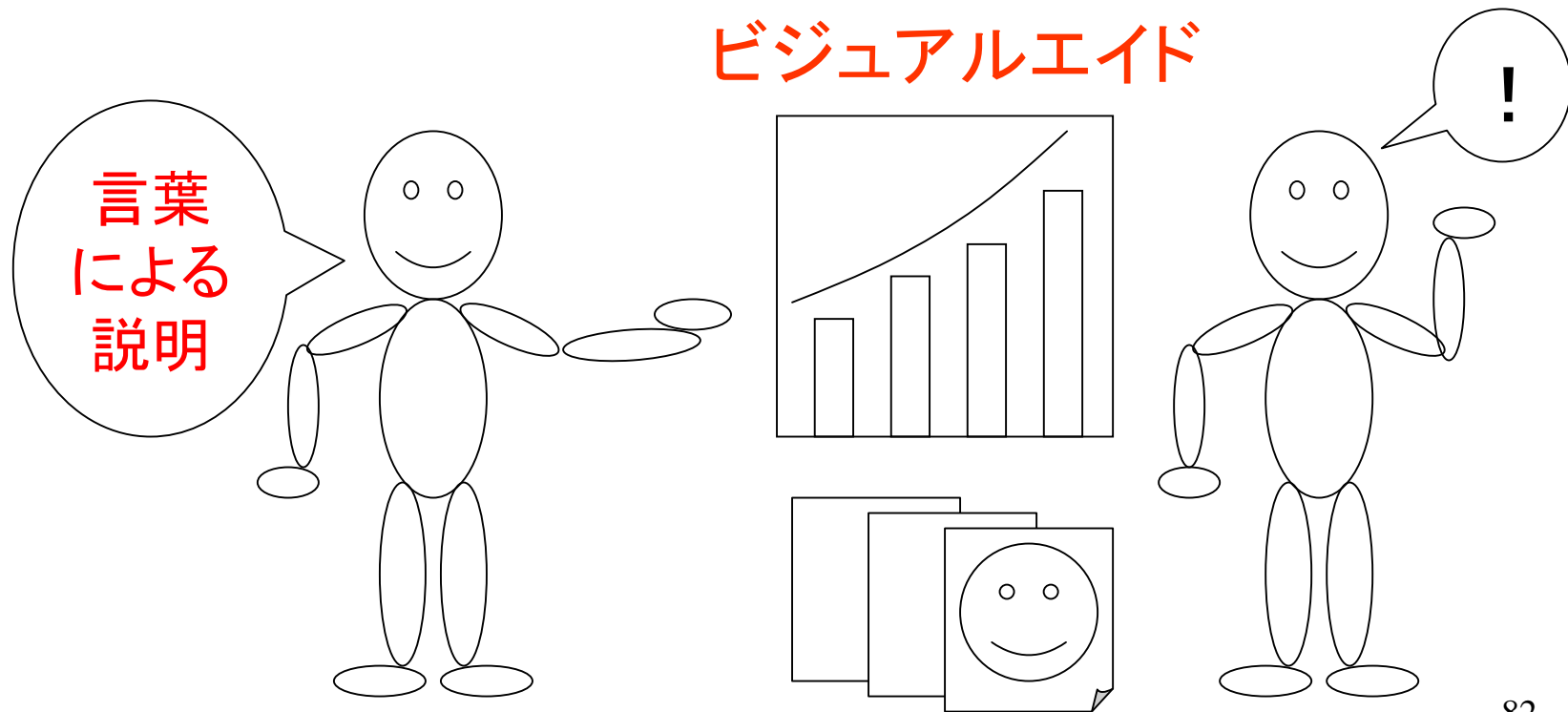
プレゼンテーションの注意点⑥

- 意図的に「**注意の喚起・印象づけ**」を行うことで、聴衆の当事者意識・参加者意識を喚起することができる。



プレゼンテーションの注意点⑦

- 言葉の説明に加え、直感的に理解できる資料(ビジュアルエイドなど)を提示すると、説得力を増す！



プレゼンテーション演習の手順

- シナリオづくり
 - 言語情報の作成 (Main Point 1st, Whole Part 法)
- イメージ・トレーニング
 - こころのなかで演じている自分をイメージする
- シャドー・トレーニング
 - 体の動き、発声なども含めて一人芝居を試してみる
- リハーサル (ロールプレイ)
 - 役割を決めて実際に演じてみる